



BLANCCO STEALTH

バージョン 2.0 ユーザ マニュアル

2009/06/01

目次

BLANCCO STEALTHについて	2
Blancco Stealthの使用目的について	3
BLANCCO STEALTH の動作環境.....	4
ハードウェア動作環境	4
ソフトウェア動作環境	4
その他の必要環境	4
BLANCCO STEALTHのインストールについて.....	5
Blancco Stealthの設定	5
消去優先パーティションの選択	7
データ消去のスケジュール設定	8
日付選択によるデータ消去のスケジュール設定	8
再起動許可回数によるデータ消去の設定	10
パスワードの設定と変更	11
マスタパスワードの変更	11
マスタパスワード入力によるデータ消去の回避機能の設定	12
PC起動時のパスワード機能の設定	13
PC起動時のパスワードの変更	13
誤ったパスワードの入力許可回数の設定	14
誤ったパスワードを入力した場合の設定	15
ハードディスクのロック機能.....	16
BLANCCO STEALTHのアンインストール	18
用語集.....	19

BLANCCO STEALTH について

Blancco Stealth はお使いのコンピュータが紛失、盗難された際に、ハードディスクのデータ消去、または、ハードディスクのロックを自動的に実行するソフトウェアです。

本ソフトウェアは、社内 PC のリプレイス時に発生するコンピュータ輸送間のデータ保護に最適な製品です。また、普段持ち歩く必要があるモバイル PC の盗難・紛失時のデータ漏洩保護のためのセキュリティ製品としてお使いいただくこともできます。

PC 起動時に誤ったパスワードを任意回数入力すると設定されたが機能を有効にするパスワード機能、また、特定の日時や、再起動回数に応じてこれらの機能を実行することも可能です。

BLANCCO STEALTH の使用目的について

PC リプレイス時のコンピュータ輸送間のデータ漏洩保護

Blancco Stealth は、データ消去のスケジュール機能設定、または、ハードディスクのロック機能により、コンピュータ輸送間のデータを保護することができます。

ハードディスクをロックすると、正しいパスワード入力によりハードディスクのロックを解除しない限り、ハードディスクのデータの読み書きが一切不可能になり、万が一、PC が盗難・紛失した場合に、PC の非所有者がハードディスクを取り外して、データを盗み取ろうとしても一切データにアクセスできません。データ消去のスケジュール機能では、データ消去を実行する日時または、データ消去実行までの再起動を許可する回数を設定することにより輸送間のデータを保護することができます。

モバイル PC 用のデータ漏洩保護

Blancco Stealth は、PC 起動時のパスワード入力機能により、平素、携行するモバイル PC が万が一盗難・紛失した場合に、ハードディスクのデータ漏洩を保護します。

誤ったパスワードを任意回数入力した場合に、OS 起動を回避し、ハードディスクをロックもしくは、データ消去を実行します。

BLANCCO STEALTH の動作環境

ハードウェア動作環境

- Microsoft Windows XP, 2000 または 2003 Server の動作環境に準じます。
- ハードディスクのロック機能には、IDE または SATA 接続のハードディスクが必要です。(SATA 接続のハードディスクでは、ATA モードへの対応が必須です。)

ソフトウェア動作環境

- Microsoft Windows XP SP1、Windows 2000 SP3 または、Windows 2003 Server
- NTFS ファイルシステム
- ハードディスクのロック機能は、Windows XP SP2 、Windows 2003 Server のみ対応しています。

その他の必要環境

- ソフトウェアの設定を行うにはインターネット接続環境が必要です。

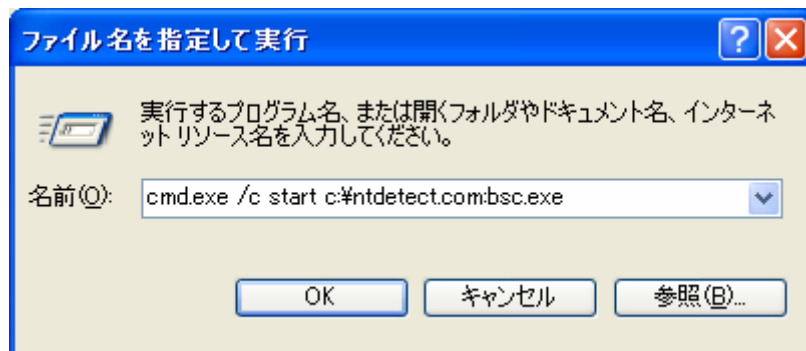
BLANCCO STEALTH のインストールについて

インストールパッケージ“Blanco Stealth 2.0.msi”をダブルクリックし、Blanco Stealth のインストールを開始してください。インストールは自動的に実行され、数十秒で完了します。

BLANCCO STEALTH の設定

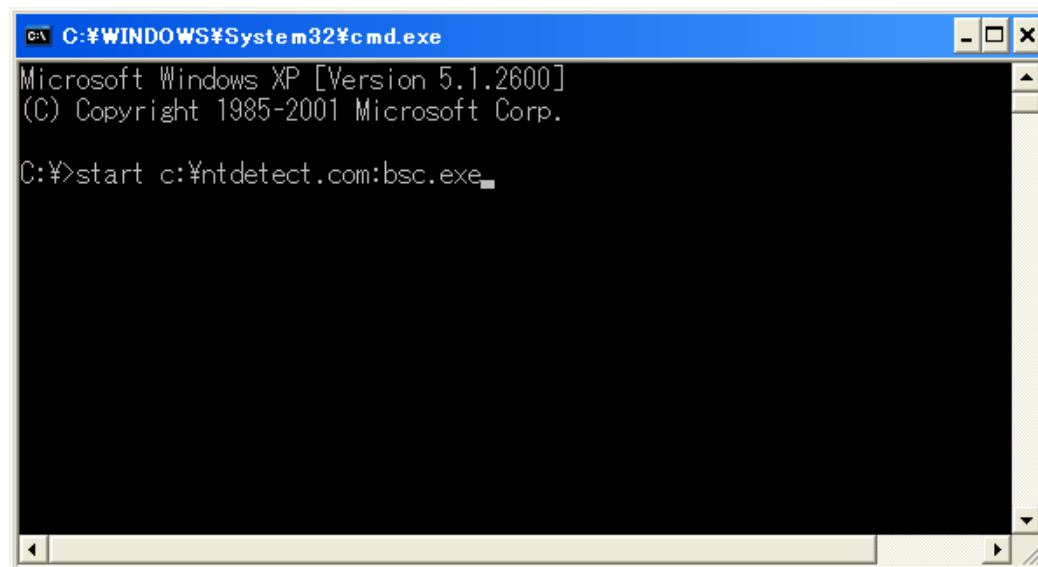
Windows 上のスタートメニューをクリックし、“ファイル名を指定して実行”を選択してください。“名前:”のフィールドに以下のように入力し、“OK”をクリックしてください。:

```
cmd.exe /c start c:%ntdetect.com:bsc.exe
```

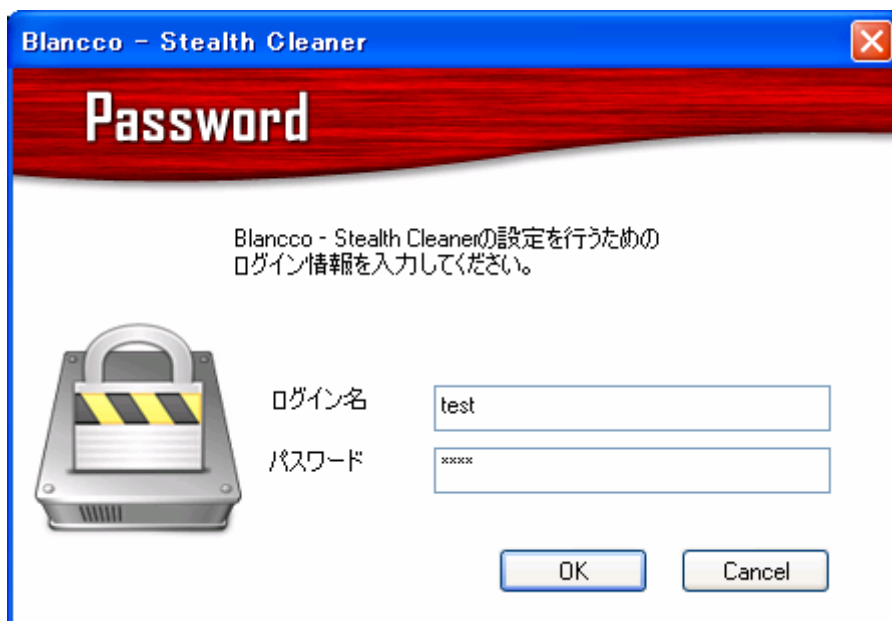


また、別の起動方法としては、スタート-> すべてのプログラム (->アクセサリ)->コマンドプロンプトより以下のように入力してください。:

```
start /b c:%ntdetect.com:bsc.exe
```



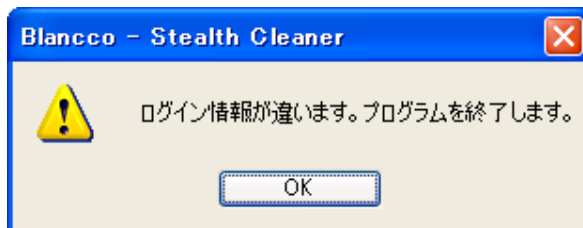
Blanco Stealth への不正なアクセスを防止するため、ログイン名、パスワードを要求するダイアログが表示されます。



ログイン名とパスワードを入力し、“OK”をクリックしてください。

Blancoservice.com でのライセンス認証を行う必要がある場合は、ログイン名とパスワードを入力してください。また、スタンドアロン版をお使いの場合は、ログイン名は空白、パスワード欄には、マスタパスワードを入力してください。

ユーザ名及びパスワードが正しく入力されない場合には以下のダイアログが表示されます。

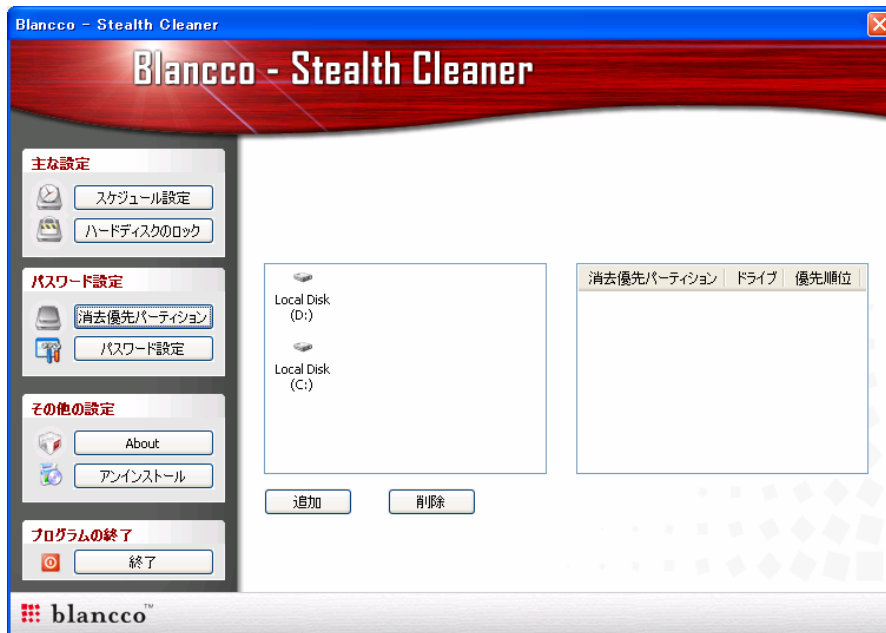


消去優先パーティションの選択

こちらでは、Blanco Stealth がデータ消去を開始する順にハードディスクのパーティションを選択することができます。

MBR の消去後、Stealth Cleaner は選択された順にプライマリパーティションのデータ消去を実行します。

最終的にプライマリパーティションの設定に関わらずハードディスク上のすべてのデータを完全に消去します。



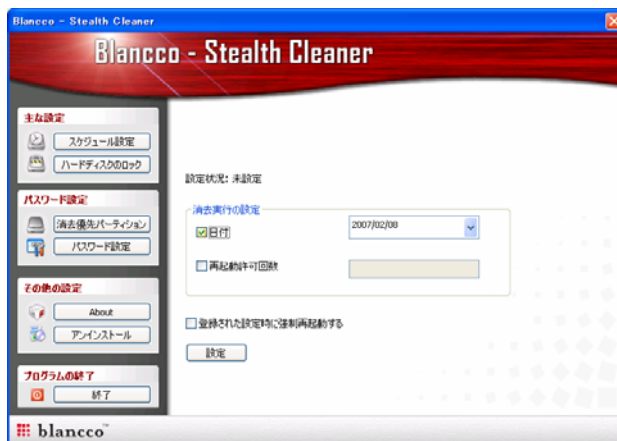
- ① “消去優先パーティション”をクリックしてください。
- ② 左のボックスからプライマリパーティションを1つずつ選択し、“追加”をクリックしてください。プライマリパーティションリストに追加された順にデータ消去が実行されます。

データ消去のスケジュール設定

“スケジュール設定”ボタンをクリックしてください。
こちらではデータ消去を実行する条件を選択します。
実行の条件は、日付または、再起動の回数もしくはその両方を設定することにより有効になります。

日付選択によるデータ消去のスケジュール設定

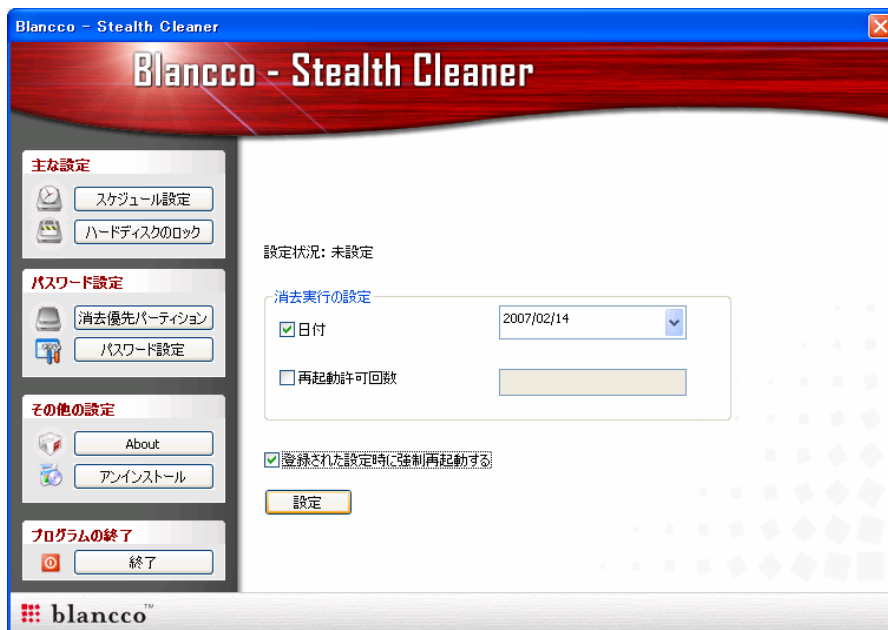
①“日付”のチェックボックスをクリックしてください。



②日付フィールドの矢印をクリックしてください。



③データ消去を実行する日付を選択してください。



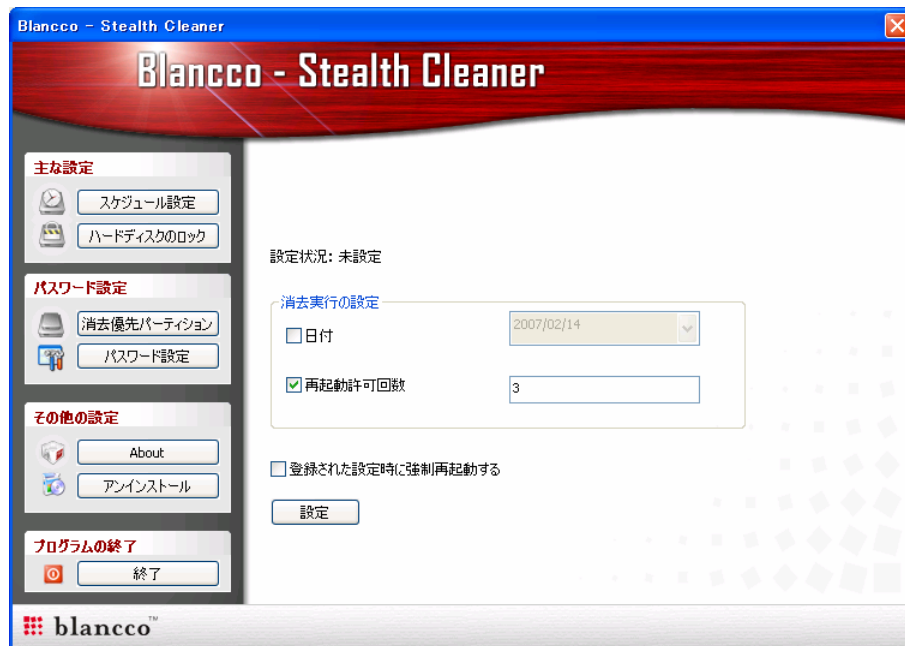
④選択された日付になり、ユーザが Windows にログオンしている場合であっても、強制的に再起動を行う場合には、“登録された設定時に強制再起動する”のチェックボックスをクリックしてください。

⑤データ消去の実行日時を選択後、“設定”をクリックすることにより、スケジュールが設定されます。お使いのバージョンがレポート機能を持っている場合、設定完了のレポートが自動的に Blanccoservice.com に送信され、以下のダイアログが表示されます。



⑥一旦データ消去機能の設定が有効化されると、トップの Windows 内に“設定状況: 設定済”というテキストが表示されます。

再起動許可回数によるデータ消去の設定



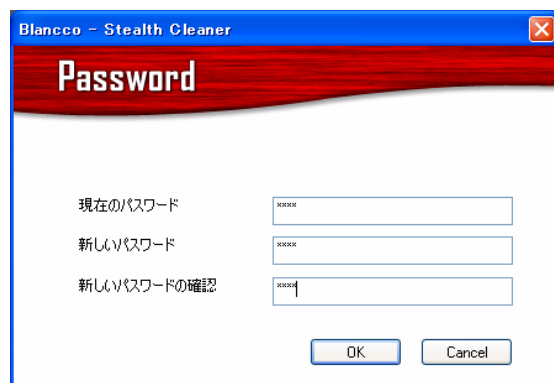
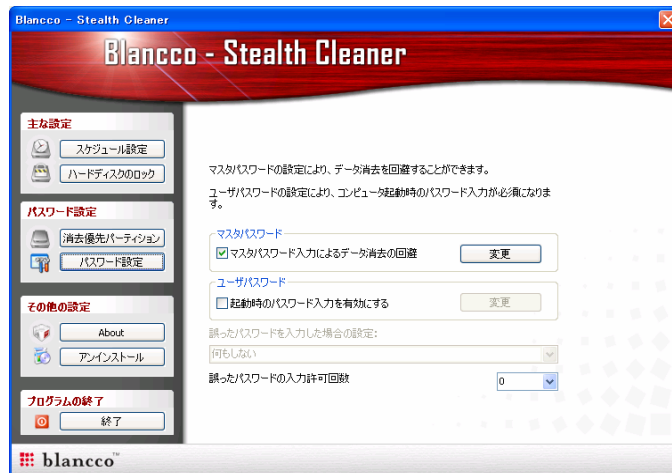
- ① “再起動許可回数”のチェックボックスをクリックしてください。
- ② データ消去を実行するまでの再起動を許可する回数を入力してください。
“0”（ゼロ）を入力した場合には、次回、いずれかのユーザがコンピュータの電源を入れると同時にデータ消去が実行されます。
設定するには“設定”をクリックしてください。

パスワードの設定と変更

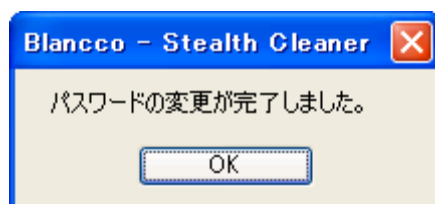
① “パスワードの設定”ボタンをクリックしてください。

マスタパスワードの変更

データ消去を回避するためには、マスタパスワードを設定する必要があります。
また、スタンドアロン版では、設定画面にログインするためには、パスワード欄にマスタパスワードを入力しログインする必要があります。



“変更”ボタンをクリックしてください。現在のパスワードを入力し、続いて新しいパスワードの欄にテキストを入力してください。”新しいパスワードの確認”の欄に再度同じテキストを入力し、“OK”ボタンをクリックしてください。以下のダイアログが表示されますので、続けて“OK”ボタンをクリックしてください。

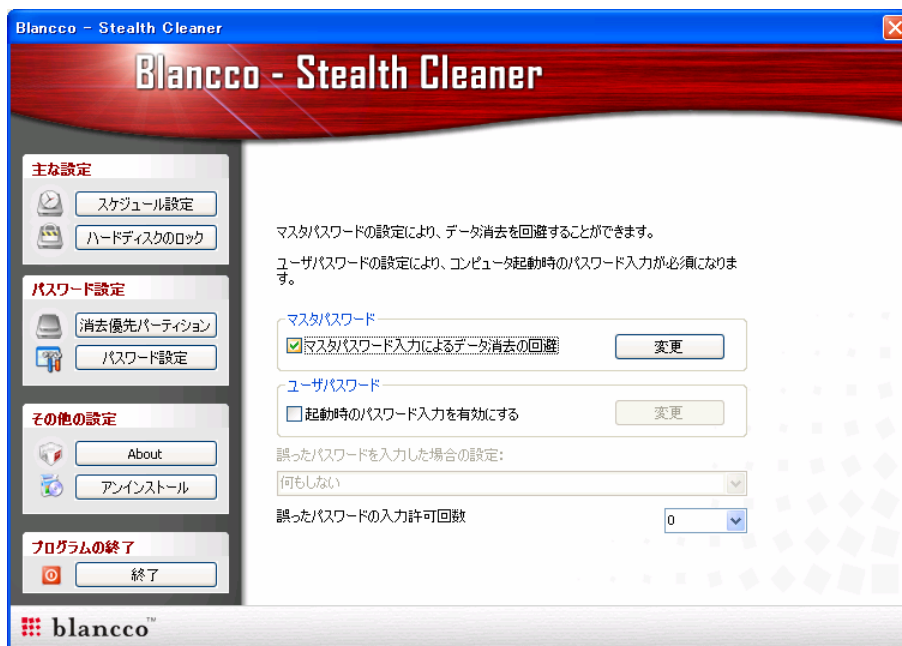


マスタパスワード入力によるデータ消去の回避機能の設定

この機能を設定することにより、データ消去の実行を回避することができます。
スケジュール設定されたデータ消去実行時、PC 起動後すぐに画面左上にカーソルが点滅します。

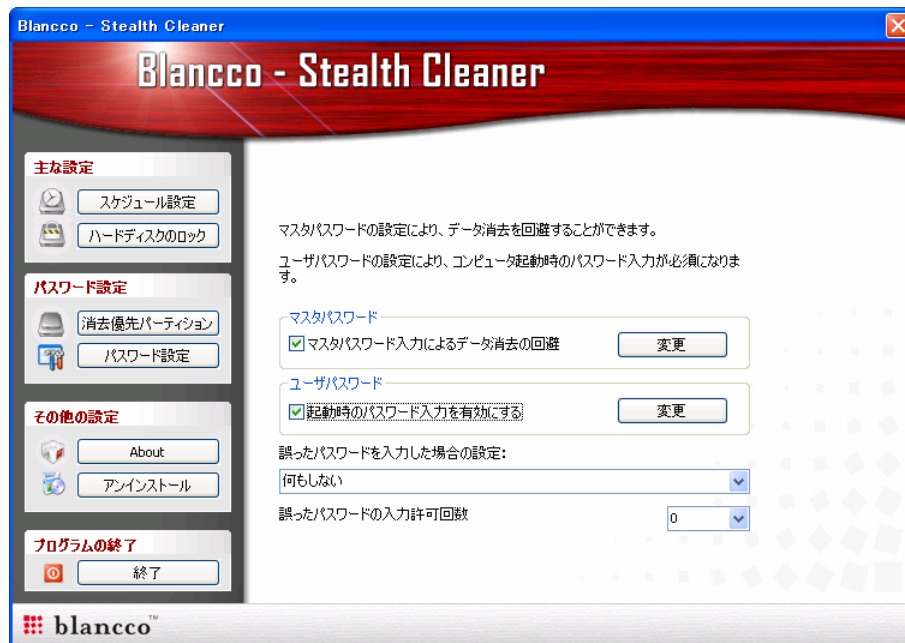
データ消去回避機能が設定されている場合、カーソル点滅中に、左の Ctrl、左の Alt、左の Shift を同時に数秒間押し続けると画面左上に“Password”というテキストが表示されます。

マスタパスワードを入力し、Enter を押すことによって、データ消去機能を回避され、通常どおり Windows が起動します。Windows が一旦起動すると、再度 Blancco Stealth の設定画面を開き、データ消去の設定を解除することができます。マスタパスワード入力によるデータ消去の回避を設定するには、“マスタパスワード入力によるデータ消去の回避”のチェックボックスをクリックしてください。

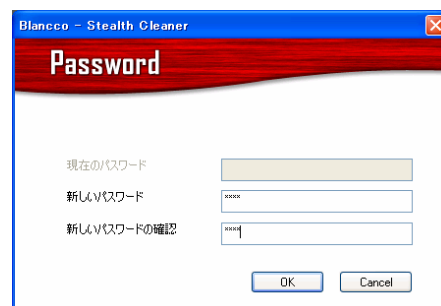
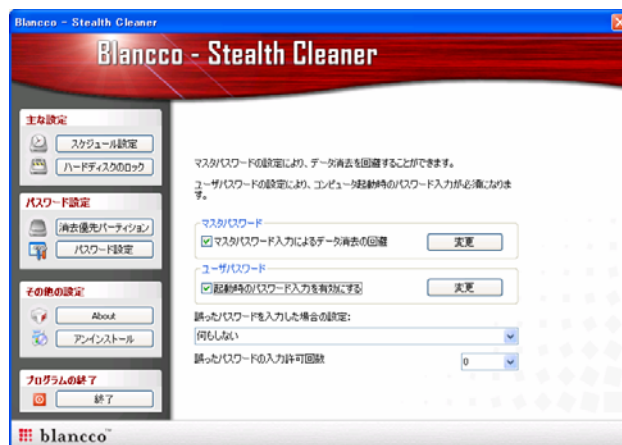


PC 起動時のパスワード機能の設定

PC 起動時のパスワード機能は、平素、携行するモバイル PC のセキュリティ機能です。Blanco Stealth は、PC 起動時に設定されたパスワードの誤入力回数に応じて、設定された機能を実行します。“起動時のパスワード入力を有効にする” チェックボックスをクリックすることにより本機能が有効になります。

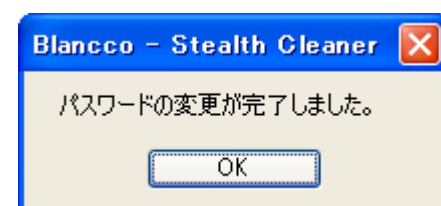


PC 起動時のパスワードの変更



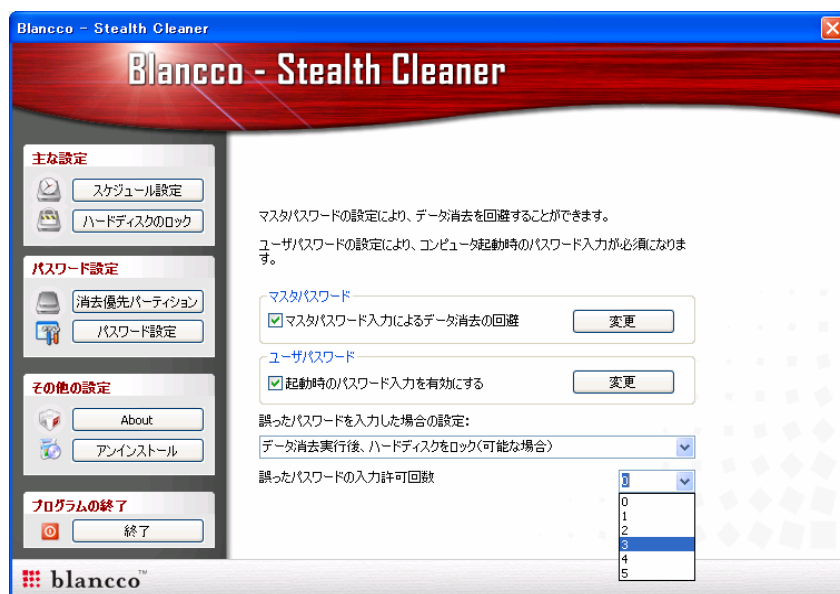
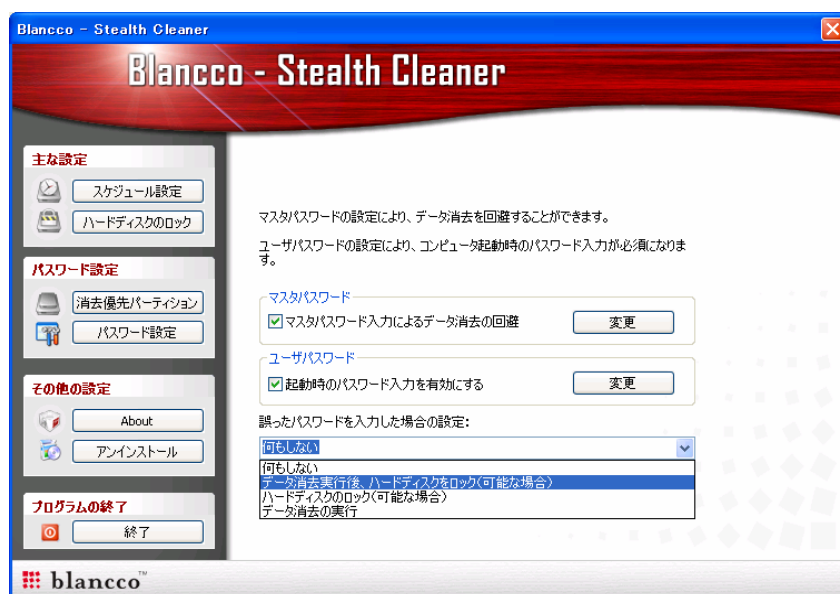
起動時のパスワード入力が有効な場合のみ、パスワードの変更を行うことができます。

“変更” ボタンをクリックしてください。現在のパスワードを入力し、続いて新しいパスワードの欄にテキストを入力してください。“新しいパスワードの確認”の欄に再度同じテキストを入力し、“OK” ボタンをク



リックしてください。以下のダイアログが表示されますので、続けて“OK”ボタンをクリックしてください。

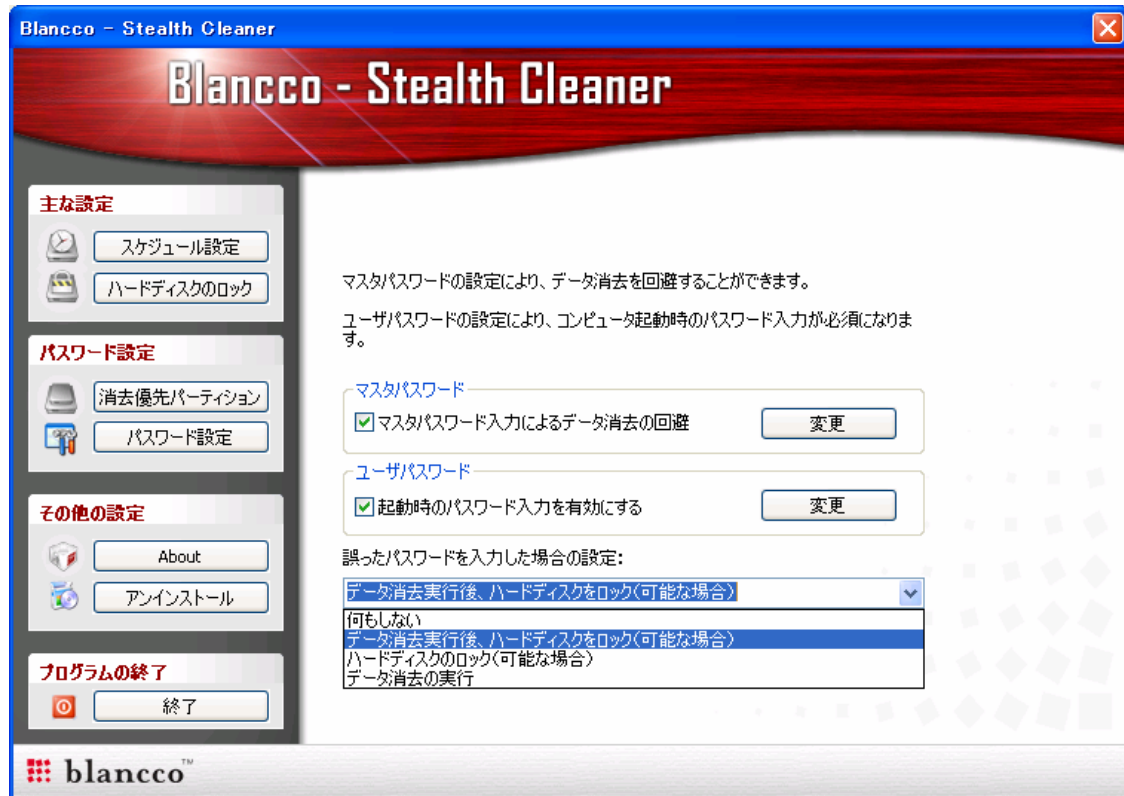
誤ったパスワードの入力許可回数の設定



“誤ったパスワード入力許可回数”の右側の矢印をクリックしてください。ドロップダウンメニューより、パスワードのご入力を許可する回数を選択してください。

誤ったパスワードを入力した場合の設定

起動時のパスワード入力が有効な場合のみ、本設定を行うことができます。



“誤ったパスワードを入力した場合の設定”の下側の矢印をクリックしてください。ドロップダウンメニューより、誤ったパスワードの入力が設定回数行われた場合の動作設定を選択してください。

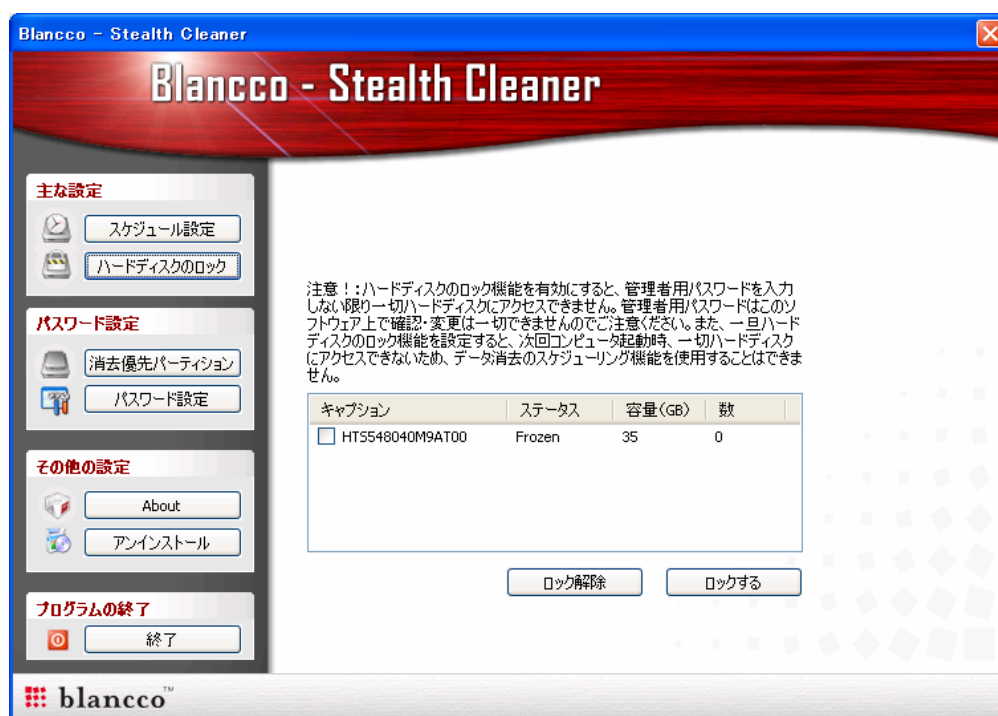
ハードディスクのロック機能

ハードディスクのロック機能は、ハードディスク上のデータの読み書きを一切不可能にする、非常に強力なロック機能です。ハードディスクのロックは、Blancco Stealth のインストールの事前に設定された管理者用パスワードを入力することでしか解除することができません。

注意! 本機能は非常に強力な機能です。本機能を一旦設定すると、次回 PC 起動時にハードディスクより OS を起動することができませんので、設定には充分ご注意ください。

“ハードディスクのロック”をクリックしてください。ダイアログ上の注意書きをご一読ください。

“ステータス”フィールドが “Not supported” または “Frozen” になっている場合、本機能を使用することはできません。

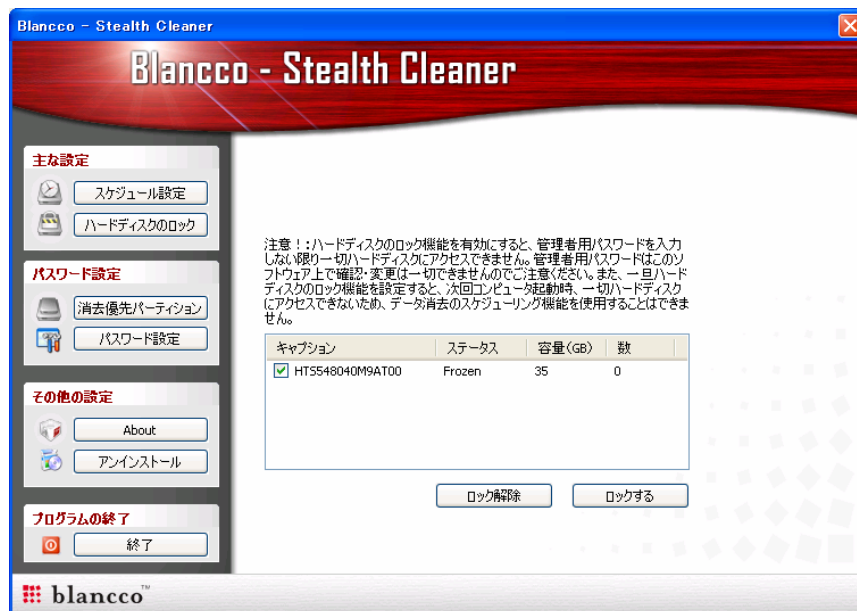


“キャプション”に表示されたハードディスクの左側に表示されているテキストボックスをクリックしてください。選択されたハードディスクをロックするには、“ロックする”ボタンをクリックしてください。

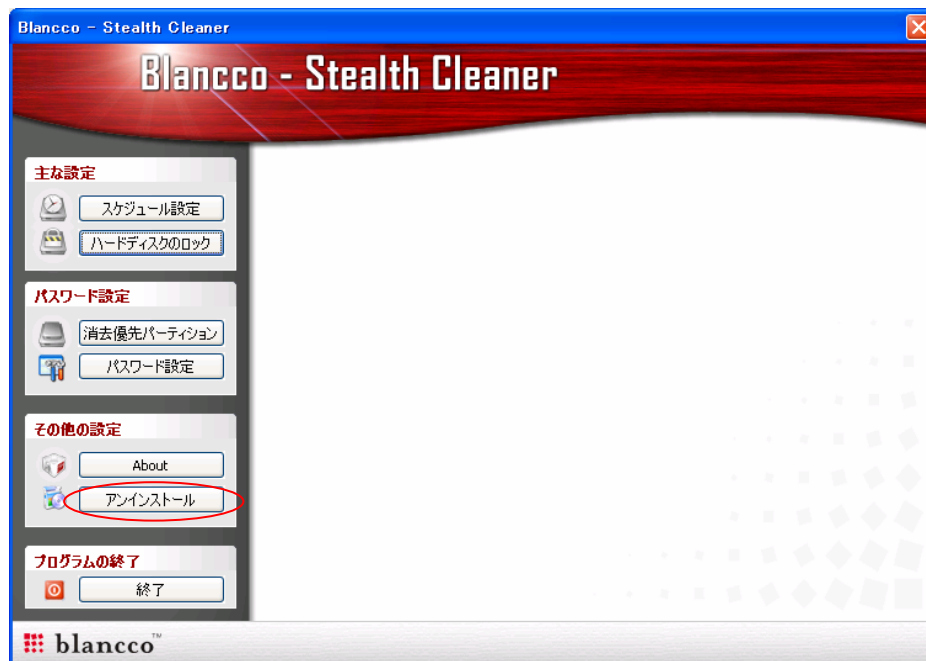
ハードディスクのロックを解除するには、“ロック解除”ボタンをクリックしてください。

一旦ハードディスクのロック機能が設定された場合、実際にロックが有効になるのは、次回コンピュータの電源を切った時点になります。

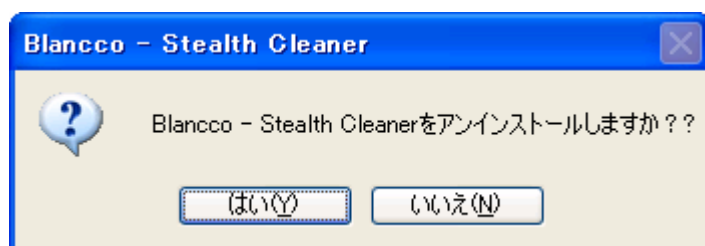
お使いのコンピュータのシステムドライブが搭載されているハードディスクのロック機能を有効にした場合、次回 PC 起動時にハードディスクから OS を起動することはできません。



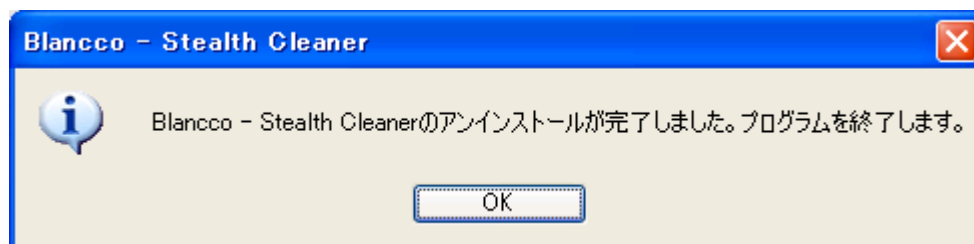
BLANCCO STEALTH のアンインストール



Blancco Stealth のアンインストールを実行するには、“アンインストール”ボタンをクリックしてください。



上のダイアログが表示されたら“はい”をクリックしてください。
“いいえ”をクリックするとアンインストールをキャンセルします。



アンインストールが完了すると上のダイアログが表示されます。
終了するには、“OK”ボタンをクリックしてください。

用語集

Blanccoservice.com

Blanccoservice.com は、Blanco 社が提供する Blanco 製品の各種レポート・ライセンス管理の ASP 型サービスです。Blanco 製品が実行されたコンピュータのデータ消去・ハードウェアの情報が管理されます。

<http://www.blanccoservice.com>

MBR

Master Boot Record (マスタブートレコード)

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスク上のセクタで、パーティションの情報を含んだパーティションテーブルなどが含まれます。

詳しくはこちら

WWW.BLANCCO.JP



株式会社 ブランコ・ジャパン
〒107-0061 東京都 港区 北青山 2-7-11
青山但馬屋ビル8階

TEL. 03-5772-7491
FAX. 03-5772-7492
SALES@BLANCCO.JP
WWW.BLANCCO.JP